

性に関する指導 新聞 第1号

今年度、学校運営ビジョンに掲げている「性に関する指導」に関する学習の様子をご紹介します。

「性に関する指導」という言葉からイメージされるのは、思春期の体の発達や変化、男女交際のマナーなどが挙がるかと思います。しかし、本校の性に関する指導では、次ページの「令和5年度 性に関する指導全体計画」に基づき、小学部1年生から手洗いや歯みがきなどの指導を通して体を清潔にすること、自分の得意なことや好きなことに取り組みながら「自分はできる!」という自尊感情を育てていくことなど、様々な内容があり、実態に応じた内容を学習しています。

第1号は、1学期に実施した学習の様子です。全3号発行予定ですので、ぜひ本校の取り組みをご覧ください。

【小学部1年生】「大切な生命～身近な動物との触れ合い～」

小学部1年生の教室では、カブトムシの飼育を行いました。カブトムシの飼育を通して、カブトムシの動きを観察したり、優しい触れ方を知ったりしながら、カブトムシに関心をもてるようにしました。

始めは、カブトムシの動きに注目するものの触れることができませんでしたが、何度もカブトムシを観察したり、教師が持ち方を見せたりすることで、少しずつカブトムシに触れることができました。



【小学部1年生】「身近な人～先生のお手伝い～」

小学部1年生、給食の配膳の様子です。牛乳をお盆に配るお手伝いをしています。先生のお手伝いを通して、いろいろな役割があることやみんなのために自分ができることを知ったり、お手伝いができた達成感、そして、先生に「ありがとう!助かったよ!」と褒められた嬉しさを実感したりしました。

始めは、先生から「お手伝いして頂けますか?」と聞かれてお手伝いをしていましたが、今では「お手伝いをしますか?」と聞き、自信をもって取り組んでいます。



【中学部】「家族の役割」

「自分の成長と家族の大切さについて知ろう」の単元では、家族の役割について振り返り、家族によって支えられていることに気付くこと、家族の支えがあって生活が成り立つことに対して感じたことを書くことを目標にして取り組みました。

ご家庭の協力を得て、小さい頃の写真を友達と見合う時間を設けると、「これ、誰?可愛い。」「笑った顔が今と似ている!」との歓声上がり、成長の振り返りが始まりました。小さかった自分たちに、どんな支えがあって大きくなってきたか、食事、洗濯、掃除の3つの面から生活を振り返りました。小さい頃は、家族に着替えや食事をしてもらっていたけれど、今は自分で着替えや食事ができることから、生活の変化を感じることができました。家の手伝いをしている生徒が多く見られました。

学習の最後には、家族に対して、「お母さん、たくさんやってくれている。」「家の手伝いを頑張ります。お母さんありがとう。」「お風呂掃除をする。」といった言葉が出てきて、家族に対する思いが深まりました。

